



総予算

399億 9,936万円で

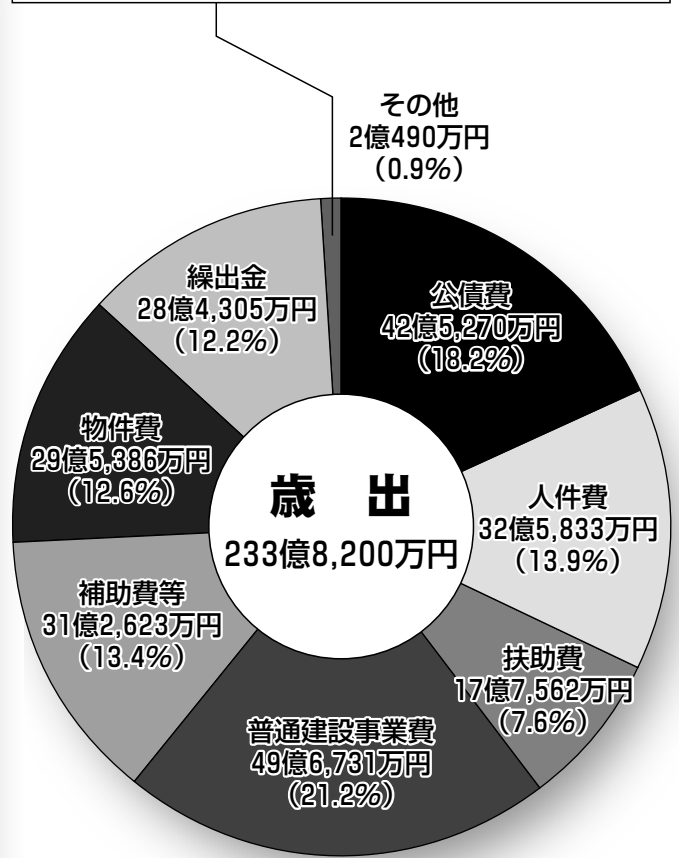
一般会計は

平成19年度予算額の内訳

会計名		予算額
一般会計		233億8,200万円
特別会計	国民健康保険事業特別会計	36億5,210万円
	老人保健事業特別会計	41億9,910万円
	介護保険事業特別会計	28億8,900万円
	市営バス運行事業特別会計	5,150万円
	簡易水道事業特別会計	10億2,050万円
	下水道事業特別会計	32億9,900万円
	商品券事業特別会計	3,630万円
	土地取得事業特別会計	6億 30万円
企業会計	上水道事業会計	8億6,956万円
合計		399億9,936万円

◆歳出の性質別内訳

積予貸	立備付	金 0.4%	維持修繕費 0.3%
		費 0.1%	災害復旧事業費 0.1%
		金 0.0%	



財政用語解説

- ★^{※1}自主財源：市が自主的に収入できる財源のことで、市税、使用料、手数料、財産収入、寄附金など
- ★^{※2}税源移譲：補助金に代わる地方公共団体の新たな財源として、国が集めている税金のうちの一定の部分を、地方が集めることができるようにすること
- ★^{※3}扶助費：法令に基づき被扶助者に対してその生活を維持するために支出される経費で、児童手当、医療扶助など
- ★^{※4}人件費：市職員給与、市議会議員・各種委員会報酬など
- ★^{※5}公債費：事業を行うために借り入れたお金の償還金
- ★^{※6}地方債：地方公共団体が国や金融機関から借り入れる資金

す予定です。
 今後も、より一層の財政の健全化を図り、まちづくり市民の声を反映できるように努力してまいります。事業効果や地域間のバランスなども十分考慮しながら、南丹市全体の視点で効率的、計画的な事業に取り組んでいく考えですので、市民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。